24日　全校集会
25日　遅刻指導

航路

平成25年度　1学年通信
第35号
発行　大阪府立堺工科高校
072-241-1401
1年担任団
学年主任　下出豊勝
ホットライン　090-3849-6266

NHKスペシャルで思い出したこと

九組担任　村田秀次

今から10年くらい前の、NHKスペシャルだったと思いますが、評論家の立花　隆監修で「臨死体験」というのがあった。それはアメリカであった話しで、ある病院に勤務している女医さんの話である。交通事故に合い重篤の状態で自分の勤務先の病院に搬送された女医さんは手術中の自分の姿を2～3m上から見ていた。そして、執刀医が間違えて自分の動脈を切ろうとしていたので、「そこは動脈だから、切ってはダメ。」と叫んだが、もちろん執刀医に聞こえるわけがない。そのまま、その執刀医は動脈を切ってしまい、血がふきだした。その瞬間女医さんは暗闇のなかに見える明るい光のトンネルの中をを高速で通りぬけ、明るくて広い、すべてが満たされている、大変幸せになれるところに出た。しばらくそこにいるとまた、光のトンネルを通り抜けてベットの上で寝ているところで意識が戻った。そこで女医さんは手術のとき上から見ていたあの光景（手術上のミス）は本当だったのか、上から見ていたはっきりした感覚は、あれは事実だったのかを確かめたくて、医師という立場を利用して自分のカルテを見た。すると、自分が上からみていたとおりのことが記載されていた。動脈を間違って切って血が吹き出し、血圧が急激に下がり、ほとんど死亡の状態に近かったことが書かれてあった。そこで、執刀医に会って手術中の出来事を問いただすと、はじめは逃げていたが、動脈を切った事実を認めた。それで、その女医さんはあの光景は事実であったことを実感したという話しだ。これは、人が完全に死んだ話ではないが、これに似た話は大変多い。ここで立花　隆は「人は肉体が滅びると、次の存在があるのでは？」「昆虫が脱皮して姿を変えるように、人間も肉体が無くなったら次の存在があるのでは？」と著「臨死体験上・下」の中で言っている。

冬休み前　成績通知

本日のHRおよび24日のHRにおいて12月までの成績を通知しています。成績表をもらったときは『次、ガンバロ』『もっとやらんと』のように、そのときは必死になって前向きに考えているようです。しかし、次の日になると忘れてしまってのんびりとしている状態をよく見ます。

今年を振り返ってください。高校受験で正月もなく頑張った人。のんびりとしていた人いろいろです。

あとわずかで一年生も終了します。取り返しのつかない状態になっているかもわかりませんが、少しでも挽回するように努力してください。

専科選択

後期から一部の系別授業が開始されています。その各系の中でさらに専科としてのグループ分けをすることになっています。また、成績懇談会において相談ができる時間をとっています。

生徒には、先月説明会を実施し、資料の配付や各教科を通じて説明をさせていただきました。今後は一月末に予定通り最終希望調査を実施します。

家庭でよく相談して選択をしてください。

成績懇談会

今週から個人懇談会を実施しています。必ず懇談ができる時間を作って懇談に参加していただく時間を調整していただき、懇談をいただくようにお願いします

諸費納入についてお願い

授業を展開するうえで教材費等のお金が必要になっています。特に実習を伴う科目においては材料費が発生し費用の納入がなければ実習が困難になる場合があります。早急に納入をお願いします。

また、今学年中に検定試験として1月に情報技術検定を全員受験のかたちで実施いたします。この費用は徴収させていただいた諸費の中から支出いたします。未納の方は早急に納入してください。

来年度実施の修学旅行費用につきましても、秋より積み立てのかたちで徴収させていただいています。この時期　四期分の納入時期になっていきますので、口座の確認をお願いします。

実生活から見た意味　冬至　12月22日

22日は冬至。一年中で昼が一番短く、夜が一番長い日です。この日に、「ゆず湯」に入り、「冬至かぼちゃ」を食べる風習が日本にはあります。

「ゆず湯」は、厳しい寒さの中でも健康に暮らせるようにと、浴槽に柚子を浮かべてはいるお風呂のことです。また、風邪を防ぎ、皮膚を強くするという効果があります。

冬至は湯につかって病を治す一湯治（とうじ）にかけています。柚子は融通が利くようにと願いが込められています。江戸庶民から生まれたとのことです。

「かぼちゃ」は、厄除けになる、病気にならないと言われています。実際にかぼちゃには、カロチンやビタミンが多く含まれています。 なお、1年で日の出の時刻が最も遅い日・日の入りの時刻が最も早い日と、冬至の日とは一致しない。日本では、日の出が最も遅い日は冬至の半月後頃であり、日の入りが最も早い日は冬至の半月前頃である。

親の労働聞き書き

◎　私はこの親の労働聞き書きから感じたことや意見が二つあります。一つ目に、仕事は自分の想像とは違うものだったりすることです。父親に『実際に働いてみてどうでしたか』と尋ねると想像とは違うものだったと、答えが返ってきました。

二つ目に仕事は好きでやることです。父親はほかの仕事をしていたときはしょっちゅう風邪をひいて仕事を休んでいてしんどそうでしたが、今の仕事では楽しくやっているとのことなので、この二つから私は仕事は想像とは違うこともあるが好きだから長続きするということです。

◎　僕の父は営業をやっています。営業という言葉を聞いて最初はあんまりどんな仕事かわからなかったです。でも、父からどんなことをやるか聞くと、とてもしんどそうなことでした。いろいろな質問で仕事の大変なところは人とのつながりが大事なところと答えてくれました。人との関係が悪いと商品を買ってくれないからです。

仕事のやりがいを聞くと、商談が成立したときと答えてくれました。仕事のやりがいがあるということはよいことだと思います。

実際に働いてみてどうだったかを聞くと、すべてにおいて厳しい仕事だと答えてくれました。とても大事な仕事だと思いました。しんどくない仕事はないといっていましたが、僕もそう思います。今回父から聞いたことはとても勉強になりました。

【夏休みの学年課題から原文そのまま】